

委員会の審査から

市議会には、4つの常任委員会が設置されており、本会議で付託された議案・請願等、各所管事項について詳細にわたり審査を行いました。その中から、各委員会の主な審査状況をお知らせします。

企画総務

町田市手数料条例の一部改正

委員 申請手続きのうちその一部が民間機関で行われているが、手数料の差額はどのくらいか。民間機関への申請件数の拡大はどの程度か。

担当者 民間機関は金額を自由に決めることができ、市と同額と決めている民間機関もあるが、二倍、三倍となっ

ているところもあります。申請比率は約五五％と、大きなものは、ほとんど民間に流れ、中小についてもかなりの量が民間に流れています。

委員 民間機関への件数が増える理由について、どのように分析をしているか。

担当者 民間は契約の際に確認をおろす日程を決めています。マンシヨンなどは、工期の計算ができ、多少、手数料が高くても、民間に行っているとの認識を持っています。

委員 民間申請が増えた結果、トラブルが増え、利害関係者との間に市が入って苦勞し、議会に対しても請願が提出される等の状況が見受けられる。条例改正に関わる制度には、大きな問題を秘めていると感じるが、国等に訴えていることは、考えているのか。

担当者 規制緩和により国において民間確認制度がつくられ、結果として弊害が生じていると認識しています。国は弊害について、行政指導により解決できる問題である、との姿勢をとっています。市、国における両者の認識には、大きな隔たりがあると感じています。必要な限り要請をしていきたいと考えています。

参議院議員選挙費

委員 立候補者数が大幅に違ったため、減額補正となっているが、町田市で行われる他の選挙で、必要な備品に流用できないか。

担当者 市の単独選挙は、備品購入費として予算を持っていないことが現実です。補助金のつく選挙で、備品については、可能な限り購入して

文教生活

町田市体育施設条例の一部改正

委員 照明使用料が三〇分単位になったことで利用者の負担は減るのか。

担当者 季節により日没の時間帯が異なりますが、今までは、例えば二時間使用する中で一時間の照明使用でも、二時間分のナイター使用料を含めていただいていたいました。

今度は、施設使用時間の別枠で三〇分単位の照明使用料を設けることで、実態に即した使用時間帯の照明使用料になります。利用者にとっては有利になると思います。

町田市地域センター条例の一部改正

委員 改正後も、いつでも個人利用は可能なのか。また、この時間帯は予約システムの対象外となるのか。

担当者 「いこいの間」として和室の一室を誰でも自由に使える形で、午後一時から七時まで提供していましたが、その時間帯を繰り上げ、午後五時までとするものです。この時間帯は、個人として、受付でカードを提出し利用する仕方は、従来と変更はありません。

委員 この改正により、三〇〇を超える登録団体に对应しきれぬのか。

担当者 一月現在、各施設の登録団体は、約二〇〇団体程度となっています。多いところは、玉川学園文化センターの三二一団体、なるせ駅前センターの三〇四団体となっています。地域によって利用の内容が異なり、対応は十分ではありません。利用時間が、午後の時間帯に集中してしまい、空いている日や、時間帯への調整により、利用していただいている状況です。

町田市国民健康保険事業会計補正予算

委員 高額療養費などの補正理由は、

担当者 従来、届け出制だ

保健福祉

いきたいと考えています。

庁舎建設費

委員 新庁舎建設に関する担当部署の移転先はどこか。

担当者 技術職が必要なため、増員を予定しています。そのため、現在の事務所では入ることが不可能なため、中町第三庁舎一階に移転を予定しています。

町田市学童保育クラブ設置条例の一部改正

委員 小山学童保育クラブはいつから使えるのか。

担当者 四月一日オープンしたい。ただ、工事を今年度と来年度に分けさせていたいただきたい。春休み中しか工事ができないので、最低限のことはやらせていただき、来年度に空調等を持っていきます。

町田市子どもセンター条例の一部改正

委員 市内五カ所設置に向けてとの話ですが、今後の整備計画と市民からの要望は。

担当者 六月定例会で中原・堺地区のセンター構想の予算をご決賜りました。次のセンターについては、忠生地区、市役所周辺の方からも要望

望いただいています。

町田市在宅介護支援センター条例の一部改正

委員 セリがや在宅介護支援センターが廃止され、場所がコモンズに移るんですが、事業の継続はどうか。

担当者 市内全域を持つている部分については、このまま継続していきます。

町田市授産センター条例の一部改正

委員 授産センターを授産場と美術工芸館に分け、なぜ美術工芸館を指定管理者に委託するのか。

担当者 市でなければいけない事業は市で行い、社会福祉法人で可能な事業は、社会福祉法人で進めていただくという考え方の中から整理

都市環境

った退職者医療が、法改正により、台帳確認できるものは市の職権で移行できることになり、町田市の場合、全員を退職者医療へ移行しました。よって、人数が増えました。また、高齢者医療は老人保健への移行が七〇歳から七五歳に変更になり、七〇歳から移行しなくなったことから不足を生じました。

町田市公共下水道根幹的施設(町田下水処理場)の建設工事委託に関する協定の一部変更

委員 五四〇〇万円の減額は、すべて市の負担が軽くなるという理解しているのか。

担当者 財源構成では、国費と都費を合わせると五三％強が補助金で、四割弱が起債をしています。事業費が五四〇〇万円ダウンしているが、そのうち四％強が市費になるので、その勘定でいくとその部分が減った部分であると思っています。

委員 施設の耐用年数に基準のようなものはあるのか。

担当者 施設ごとに一定の耐用年数はあります。経過年数からいって今後もかなりの量の更新工事が出てくること

になります。

金融対策費

委員 中小企業融資利子補助金について、どのくらい利用が上がっているのか。

担当者 当初予算で、新規分も含めて、年間四五〇件見積もっていました。貸付件数は月に大体四七、八件伸びています。

委員 どのような貸付がふえたか。

担当者 二〇〇三年度と二〇〇二年度を比較すると、全体で六二件ふえ、特に運転資金が六八件から一七八件に、設備資金も二二件から七〇件に増加しています。

都市計画事業債

委員 (仮称)三輪自然公園園地及び鶴見川源流の広場